



▼白旗仮設団地内集会所で演奏を行うフェアリーフラワーと観客



今回、同ユニットのヴァイオリニストである赤星鮎美さんのほか、ママコーラス「ゆらりら」を迎えて、唱歌「ふるさと」、「翼をください」や、熊本復興支援ソング「いつまでも」などの楽曲を披露。ヴァイオリンの心地良い音色に聞き入る人、知っている曲と一緒に歌う人など、観客は思い思いにコンサートを楽しみました。

## 本町の復興を願って演奏

フェアリーフラワーが仮設団地でコンサートを開催

6月6日（火）白旗仮設団地内集会所「みんなの家」でクラシックユニット「Fairly Flower」（フェアリーフラワー）による復興支援コンサートが開催されました。

同ユニットは、昨年の熊本地震の発生後に熊本出身のソプラノ歌手である実紗さんの呼びかけで結成。震災後、全国各地でコンサートを行うなどの復興支援活動を行われています。

「楽しい時間を一緒に過ごしたいと思います」と実紗さんのあいさつがありコンサートはスタート。

## 五輪のフラッグで復興支援

オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

2020年に開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、機運醸成を目的として全国を巡回する「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」のフラッグが6月10日（土）～13日（火）、町生涯学習センター・ギャラリーモールにて展示されました。

今年度は、熊本地震の復興支援として県内でのフラッグ巡回が実施されており、当町をはじめとする21か所にフラッグが展示されました。



▲ギャラリーモールに展示されたオリンピックフラッグ



▲震災復興応援メッセージを送る赤星鮎美さん

## 応援メッセージで本町を激励

ヴァイオリニスト・赤星鮎美さん（本籍地：甲佐）

熊本地震から1年を過ぎ、本籍地を本町に置くヴァイオリニスト、赤星鮎美さんから本町へ応援メッセージが寄贈されました。

赤星さんは4歳よりヴァイオリンを始め、第11回九州音楽コンクール弦楽部門にて金賞および最優秀賞を受賞。現在、クラシックユニットの「フェアリーフラワー」での復興支援活動のほか、様々なジャンルでの演奏活動や、オーケストラクラブなどでの後進の指導をされています。赤星さんは、「心のふるさと甲佐町をいつも思っていて演奏しています。1日でも早くみなさんの笑顔が戻るように頑張ります」とメッセージを送りました。

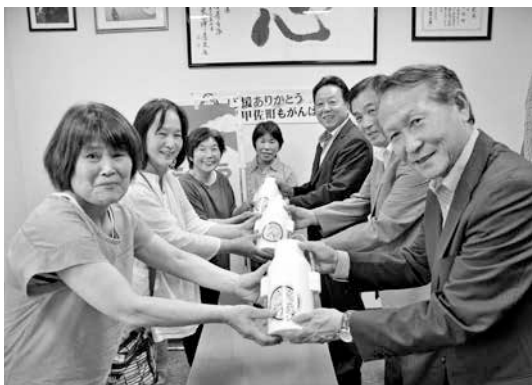
## お父さんに牛乳を贈ろう

「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーン

6月16日（金）上益城郡酪農組合女性部の4人が「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンで、町役場を表敬訪問しました。

同キャンペーンは、「父（ちち）」と「牛乳（ちち）」をかけて、家族のためにがんばるお父さんに牛乳を贈って応援しようという取り組みで、平成13年から行われています。

女性部の4人は、奥名克美町長、師富省三副町長、蔵田勇治町教育長に父の日特製容器に入った牛乳を贈呈し、「牛乳を飲んで元気にがんばってほしい」と話しました。



▲奥名町長らに牛乳を手渡す酪農組合女性部

## 夢と目標を持つ大切さを伝える

乙女小学校で「夢の課外授業」を開催



▲子どもたちに夢を持つ大切さを伝える課外授業。約90分行われたダンスの授業を楽しんだ児童と講師3人で一緒に記念撮影



▲町生涯学習センター・ホールで行われた落語会

## 落語を通してみんなを元気に

「林家きく麿・落語会」を開催

6月13日（火）町生涯学習センターで、「林家きく麿・落語会」が開催されました。

同会は、町生涯学習センター自主文化事業のひとつで、地域の文化的活性化を目的として町教育委員会が主催するものです。今回、落語家で、「くまもと大好き大使」にも就任されている林家きく麿さんを迎え、古典落語と新作落語3席を披露されました。

きく麿さんの社会風刺あり歌ありの名人芸に、会場はどっと笑いの渦に包まれました。

5月22日（月）乙女小学校体育館で「夢の課外授業」が開催されました。

「夢の課外授業」は小・中学生を対象に、各界で活躍する著名人を講師として招き、実際に触れ合うことで「目標」や「夢」を持ってもらうことを目指すプロジェクト。今回の講師として、EXILE / 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE の小林直己さん、THE RAMPAGE from EXILE TRIBE の神谷健太さん、与那嶺瑠唯さんの3人を迎えてダンスの授業がスタート。一人一人丁寧に振付の指導を行い、子どもたちはダンスを覚えようと熱心に授業に取り組みました。ダンスレッスン後には3人から記念のTシャツとタオルがプレゼントされ、子どもたちは感謝の気持ちを込めた歌のプレゼントを贈りました。

講師の3人は「乙女小学校の皆さんとダンスを通して一緒につながれたことはうれしいです。微力ながら、エンターテインメントを通じたこの活動でできることがあれば勢力的に続けていきたい」と話しました。